

**進行/再発 大腸癌**

**FOLFIRI+ラムシルマブ 療法レジメン**

**トレフューザーポンプ 用**

進行/再発 大腸癌 FOLFIRI+ラムシルマブ療法

C-22

< 14日間隔 >

治療日		第1日目	第2日目	第3日目	第4日目	第5日目	第6日目	第7~14日目	第15日目
治療内容									
検査	採血	○							○
	尿検査	○							○
診療	副作用の間診	○							○
	検査結果	○							○
治療中止基準	①好中球数1500未満 ②血小板10万未満 ③ビリルビン>ULN ④AST・ALT 肝転移無し：ULN×3、 肝転移あり：ULN×5 ⑤消化器毒性G2以上 ⑥動脈・静脈塞栓症 ⑦消化管穿孔 ⑧G3以上の出血 ⑨うっ血性心不全 ⑩瘻孔 ⑪G2の以上の高血圧 ⑫たんぱく尿1日2g以上 ⑬手術予定 ⑭創傷治癒による合併症発現								-
点滴	①生食100ml +アロキシ0.75mg×1瓶 +デキサート3.3mg×2A +ポララミン注×1A 点滴静注【30分】	↓							↓
	②生食250ml +サイラムザ8mg/kg 点滴静注 【1時間】 フィルター付きルートで	↓							↓
	③生食50ml 点滴静注 【ルートフラッシュ用】	↓							↓
	④5%ブドウ糖250mL +レボホリナート(200mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【2時間】④'と同時に	↓							↓
	④'5%ブドウ糖250mL +イリノテカン塩酸塩点滴静注 (150mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【90分】④と同時に	↓							↓
	⑤生食50mL 5-FU(400mg/m <sup>2</sup> ) 点滴静注【全開】	↓							↓
⑥生食100mL 5-FU(2400mg/m <sup>2</sup> ) 計約140mlに調製し トレフューザーポンプで 【4.6時間】	↓							↓	

**看護のPoint!!**

口内炎、下痢の可能性もある。持参薬にワーファリンがあれば主治医に報告(5-FUとの相互作用あり)

特徴的な副作用は下痢。投与中～直後の早発型と、投与24時間以降の遅発型。ロペミンなどで対処

骨髄抑制と吐き気、脱毛の可能性あり。

投与時間は多少前後してもいいが、イリノテカンは90分以上かければ大丈夫。

トレフューザーポンプの使用上の注意は大丈夫??残量の確認方法をチェックしておいてね♥